



7月の植物の育て方



梅雨明け後の日差しに注意

- 梅雨明けまでは日差しが弱く、気温は6月ごろと大きく変わりませんが、梅雨が明けると日差しが急に強くなり、気温も急上昇します。
- 植物にとっても大きな負担となり、株が衰弱したまま本格的な夏の暑さを迎えると、枯れてしまうこともあります。
- 急に強い直射日光に当たると、葉焼けを起こして株が弱ってしまうので、暑さに弱い種類は早めに半日陰へ移動させましょう。



しおれを防ぐための剪定

- 強い日差しと高温によって、吸水と蒸散のバランスがくずれて、葉や茎が一時的にしおれてしまうことがあります。
- 日差しが弱まる夕方にはしおれた葉や茎は回復しますが、しおれを防ぐためには、切り戻して枝数を少なくして蒸散量を抑えるといいでしょう。強く切り戻すと、生育が悪くなるので注意しましょう。
- 夏の暑さに弱い種類は生育を休止するので、肥料を必要としません。効果が長期間続く緩効性肥料を置き肥として施している場合は、早めに取り除いておきましょう。

